

# 令和7年度 事業報告書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

一般社団法人 幼児教育保育用品協会

## 1. 事業実施の方針

設立6年目である当年度は、引き続き日本の幼児教育・保育における永続的なテーマである「質の確保・向上」への貢献を目指し、幼児教育・保育用品の調査研究・品質向上・普及啓発等の事業活動を行った。

## 2. 事業の実施に関する事項

事業名	総合保育絵本の普及啓発活動
事業内容と活動実施内容	総合保育絵本において、その使用・普及により保育の質向上に貢献することを目的に、当年度は関係府省庁への提言活動を強化。その結果、沖縄小規模離島への総合保育絵本活用による「読書環境支援事業」への事業参画など一定の成果を得ることが出来た。また総合保育絵本の有用・有効性に関するエビデンス獲得を目的とした SNS 活用施策等も積極的に展開した。
実施日	年間を通して検討のための分科会活動を随時実施
実施場所	会員企業施設及びリモート会議等で実施
従事者の人数	13名（分科会マネージャー2名含む）
支出額（千円）	154（読書環境支援事業関連, SNS キャンペーン費用等）

事業名	乳幼児遊具の安全規準策定と普及啓発活動
事業内容と活動実施内容	乳幼児遊具における幼保施設のための安全規準策定と普及啓発を目指し、当年度は令和7年4月に発刊した「乳幼児・幼児施設遊具の安全に関するガイドライン」の運用施策として、推奨遊具申請制度の構築や情報チラシの定期刊行などの普及啓発施策を実施した
実施日	年間を通して検討のための分科会活動を随時実施
実施場所	会員企業会議室及びリモート会議等で実施
従事者の人数	25名（分科会マネージャー2名含む）
支出額（千円）	373（ガイドライン及び啓発冊子・HP作成関連費他）

事業名	「幼保版」教材・備品の整備指針策定と普及啓発活動
事業内容と活動実施内容	文科省策定「小中学校・教材整備指針」の幼保版整備リストを作成し、そのリスト掲載製品・商品の幼保版における「標準化」を最終目的として、当年度は「保育施設整備リスト(初版)」の完成と、その公表に向けた普及啓発施策の策定・推進準備活動を展開した。
実施日	年間を通して検討のための分科会活動を実施
実施場所	会員企業会議室及びリモート会議等で実施
従事者の人数	16名（分科会マネージャー2名含む）
支出額（千円）	248（保育施設整備リストヒアリング謝金, HP制作等）